

---

令和元年 第1回（臨時）日出町議会会議録（第2日）

令和元年7月9日（火曜日）

---

議事日程（第2号）

令和元年7月9日 午前10時00分開議

開議の宣告  
委員長報告  
委員長報告に対する質疑  
討論  
採決  
閉会の宣告

---

本日の会議に付した事件

開議の宣告  
委員長報告  
委員長報告に対する質疑  
討論  
採決  
閉会の宣告

---

出席議員（16名）

1番	河野 美華君	2番	豊岡 健太君
3番	安部 徹也君	4番	川辺由美子君
5番	衛藤 清隆君	6番	阿部 真二君
7番	上野 満君	8番	金元 正生君
9番	川西 求一君	10番	岩尾 幸六君
11番	土田 亮治君	12番	池田 淳子君
13番	工藤 健次君	14番	熊谷 健作君
15番	佐藤 二郎君	16番	森 昭人君

---

欠席議員（なし）

---

欠 員 (なし)

---

事務局出席職員職氏名

局長 井川 功一君 次長 工藤 明美君

---

説明のため出席した者の職氏名

町長	………	本田 博文君	副町長	………	目代 憲夫君
教育長	………	堀 仁一郎君	会計管理者兼会計課長	…	土谷美香子君
総務課長	………	藤本 英示君	財政課長	………	白水 順一君
政策推進課長	………	木付 達朗君	契約検査室長	………	宇都宮正徳君
税務課長	………	今宮 明君	住民課長	………	堀 雅之君
福祉対策課長	………	伊豆田政克君	子育て支援課長	………	佐藤久美子君
健康増進課長	………	後藤 英樹君	生活環境課長	………	梶原 新三君
商工観光課長	………	藤原 寛君	農林水産課長	………	河野 一利君
都市建設課長	………	須藤 淳司君	上下水道課長	………	岩尾 修一君
教育委員会教育総務課長	…	帯刀 志朗君	教育委員会学校教育課長	…	小田 雅章君
社会教育課長	………	安田加津浩君	文化・スポーツ振興課長	…	岡野 修二君
監査事務局長	………	西村 浩明君	総務課課長補佐	………	河野 匡位君
財政課課長補佐	………	古屋秀一郎君			

---

午前10時28分開議

○議長（森 昭人君） 皆さん、おはようございます。

議員各位におかれましては、2日間にわたり慎重に御審議いただき、また議会運営にも格段の御協力を賜り心から感謝を申し上げます。

---

**開議の宣告**

○議長（森 昭人君） ただいまの出席議員は16名です。定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。本日の会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

報道機関より、テレビカメラ、写真の撮影の申し込みがありましたので、傍聴席からの撮影を許可いたします。

---

### 委員長報告

○議長（森 昭人君） これより委員長報告を行います。本臨時会で予算常任委員会に付託された議案について、委員会における審査結果の報告を求めます。予算常任委員会委員長 土田亮治君。土田亮治君。

○予算常任委員長（土田 亮治君） 予算常任委員会は、会期日程にしたがいまして7月8日、9日の両日、関係者出席のもと当委員会に付託されました議案1件について審査いたしましたので、その結果を御報告申し上げます。

議案第33号令和元年度日出町一般会計補正予算（第3号）についてであります。規定の予算の総額に歳入歳出それぞれ3,400万円を追加し、補正後の予算の総額を102億7,660万9千円とするものです。

歳出の内容は、学校給食センター建設に伴う建設地の埋蔵文化財発掘調査費3,400万円です。

歳入予算は、財政調整基金繰入金による財源調整となっております。

委員会ではさまざまな意見、質問等がありましたが、慎重審議の結果、全会一致で可決であります。予算常任委員会として、埋蔵文化財発掘調査費3,400万円を超えないこと、2021年9月新給食センターが供用開始することを付帯決議といたしました。

以上、簡単ではありますが、予算常任委員会の報告とさせていただきます。

○議長（森 昭人君） 以上で、委員会における審査結果の報告を終わります。

---

### 委員長報告に対する質疑

○議長（森 昭人君） これより委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） なければ、これで質疑を終わります。

---

### 討論

○議長（森 昭人君） これより討論を行います。討論はありますか。13番、工藤健次君。

○議員（13番 工藤 健次君） 13番、工藤です。議案第33号令和元年度日出町一般会計補正予算（第3号）文化財保存調査委託料3,400万円について賛成討論を行います。

給食センターの建設については、誰も反対する人はいないと思います。私も大賛成です。しかし、不必要な高額な予算を使うことには反対ですし、町民の多くが同じ意見です。

これまで町長の発言等を検証すると、1年近くかけて検討した検討委員会の優先順位を1番の

候補地を地域が同じということで、福祉センターグラウンドに決定をしました。この決定にも時間をかけすぎた。地元が反対しているのに、他地区の声を聞くといって1年近くも時間をかけて断念をした。そして、検討委員会の第一の候補地に決定したところ、この候補地も地主の都合で断念して、今の候補地に決定をした経緯があります。

福祉センターグラウンドにしたのは、インフラの整備が整っていると、それから第一状況は厳しいということではなかったですか。藤原が適地であるのはわかりますが、発言が一貫していないように思います。最近「お金の問題ではない」と言っているし、「財政改革の最中で、身を切る改革もしません」とはっきり言っています。財政状況が好転したのですかね。文化財の保存調査費3,400万円は、財政調整基金を使うということではないですか。財政調整基金は、県下でも最下位のほうにあります。文化財が出たことによって、通常は土地の地価は下がるのではないですか。調査費と造成費をプラスすると、何の問題もない土地を取得することに比較すると、割高になっているのではないですか。

以上のような、いろいろな問題のあるこういう状況の中3,400万円かかるということで、予算は本当は認めたくないんですけども、先ほど委員会で付帯決議が全会一致で通ったということで、期限も2021年の9月に切って、それから3,400万円を超えないということで全員一致で決議がされたので、今回はこの議案第33号の3,400万円は認めることにしました。

しかし、町民の多くはお金がかかることについて凄く不安を持っていますので、この付帯決議を重く受けとめて、これからの建設に向かって努力をしていただきたいと思います。

以上で終わります。

○議長（森 昭人君） ほかに討論はありませんか。6番、阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） 6番、阿部真二です。賛成討論を行います。

議案第33号令和元年度日出町一般会計補正予算（第3号）について行います。給食センター建設予定地の本発掘調査費3,400万円について、埋蔵文化財保存地域であるにもかかわらず、利便性適地とのことからその場所を選定し、試掘調査の結果、遺構・遺物の存在が確認されたことから、本発掘調査を行う必要が生じ、本発掘調査費3,400万円を補正計上し、昨日の予算委員会での審査では、まだ給食センター建設の全体計画も定まっておらず、予算も発掘期間も実際にどれほどかかるのか明確でない状態であること、また砂防指定地域であり、適地どころか制約のある土地であること、町民への説明はここにいる16名の議員が町民の代表であり、ここで説明しているので直接的な説明は必要ないと町長は認識されているようですが、町民の声は「税金を無駄に使うことは許されない」と言われており、到底認めるわけにはいかない予算だったのですが、先ほど予算委員長の報告にあったように、調査費用3,400万円を上限とする2021年9月供用開始を遵守する付帯決議を全会一致で採択されたので、この議案第33号令

和元年度日出町一般会計補正予算（第3号）について賛成します。

以上です。

○議長（森 昭人君） 次に、原案に反対者の発言を許します。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。3番、安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） 議員番号3番、安部徹也です。

この議案第33号令和元年度日出町一般会計補正予算（第3号）に対する賛成討論、苦渋の賛成討論を行いたいというふうに思います。

本議案は、給食センターの建設予定地で試掘を行った結果、文化財が出土したために本調査に必要な予算の上程です。

建設センターの建設は、多くの日出町民が望んでいるものであり、私自身も現在の給食センターを視察に行きましたが、老朽化が非常に激しく1日でも早く給食センターを建設して、子供たちに安心・安全な給食を届けていただきたいと願っています。

ただ、今回の予算の上程には問題点が多々あり、当初は反対の立場でありましたが、給食センターの建設をこれ以上遅らせることは許されるものでもなく、苦渋の決断ではございますが、賛成の立場を表明いたします。

昨日の予算委員会で多くの問題が議論されましたが、私自身、特に今回気になったのが町長の町民を無視したやり方です。この給食センターの建設は、当初の予定決定からトラブルが続いています。当初、財政が厳しいという理由で、町有地である保健福祉センターのグラウンドに給食センターを建設することを町長が決定し、メディアを通して町民に知らせるという方法をとりました。これに町民は反発し反対の声が上がったために、町長は町民説明会ということで各地区を回り町民に説明した結果、理解を得られず、場所を変更せざるを得ない状況に追い込まれました。

そして今回、新たに決めた場所では遺跡が見つかり、相当な調査期間と費用がかかるということ、多くの町民が先日メディアの報道で知ることとなり、そんな土地に給食センターを建てるのはおかしいのではないかという声が上がっています。

実際に、私のところにも毎日のように町民の方から、給食センターの建設予定地に関する電話が入ってきました。中には、怪情報のような荒唐無稽なうわさ話もありました。もし、町長がこのような丁寧な説明をすることなく、独断で給食センターの建設を押し切ろうとするなら、さまざまな憶測が町民の間に広まり、町内は混乱することは間違いありません。そして、このような町民を無視した町長のやり方を、何らして擬せずに今回の予算を通してしまえば、私自身が町民の皆様から無能議員のそしりを受けることを免れることはできないでしょう。

議会制民主主義のもとでは、我々議員が町長の決定をチェックし、間違いがあればそれを正し、

町民のためになる方向へと軌道修正させる役割を果たさなければ議員でいる意味がないといっても過言ではありません。

○議長（森 昭人君） 安部議員、賛成討論ですか反対討論ですか。

○議員（3番 安部 徹也君） 賛成討論。

○議長（森 昭人君） 賛成討論ですね。

○議員（3番 安部 徹也君） 苦渋の賛成討論です。そこで、私自身、町民のもとへ足を運び生の声を確認してきました。例えば、小学生や中学生のお子さんのいる家庭で話を聞いたところ、大半の人たちは「給食センターの早期建設は望んでいるものの、無駄なお金がかかるのであれば、極力お金のかからない方法でやってほしい」というお声いただきました。聞いてみると、数千万円の予算があるのなら、あれをやってほしい、これをやってほしいといういろいろな要望があったんです。そんな町民の夢や望みをかなえて、生活を豊かにしてあげるのが、町長の仕事ではないんですか。今、町民の間では、町のお金の使い方がおかしいという話も広まっています。ささいなことでお金を節約する反面、無駄なお金をどんどん使っていると。

今回の3,400万円についてもそうです。3,400万円あればいろんなことができます。1日になった城下かれい祭りを2日に戻すこともできるでしょうし、戦没者追悼式で廃止になったお弁当を復活させることもできます。また、今は1カ月500円必要な……。

○議長（森 昭人君） 安部議員。本議案に対する賛成討論を行ってください。

○議員（3番 安部 徹也君） はい。私の考えを賛成討論として、今、述べさせていただいています。（「議会の品位を問われるぞ。あんまり言よると」と呼ぶ者あり）

はい。給食費を払いたくても払えない世帯の援助もできます。ほかにも給食センターによりグレードの高い機材を導入して、より安心して安全な給食を子供たちに届けることもできるでしょう。お金というのは、生きた使い方をすることによって、はじめて人々を幸せにできるんです。

特に、今回使われるのは税金です。税金というのは、町民の皆さんが汗水垂らして働いてやっとのことで納めるお金です。つい先日、私が農家の方と話していたらこんな話が出ました。「おれはこの時期、町長のボーナスの額など新聞で発表してもらいたくないんじゃない」と、私がどうしてですかと聞くと「われらは一生懸命働いて米をつくって、それでも年間の収入は100万円にも満たん。にもかかわらず、町長は半年ごとにそれをゆうに上回るボーナスを手にするのは、世の中、何と不公平かといやな思いをするけん」と答えられました。

町長、あなたが使おうとしている税金は、町民の皆さんが本当に苦労して働いて納め、町民のために使ってくださいとあなたに一任していることを決して忘れないでください。農家の方は一生懸命働き、家族を養うためにお金を稼ぎ、質素な生活をしながらその上で町民のためになればという思いを込めて税金を納めているんです。そんな大切なお金を預かっているという認識がも

しあれば、1円たりとも無駄にできないと思うのが普通でしょう。

今回の予算は、私自身は無駄とは考えていますが、50年に1度の大事業ということで、苦渋の決断ではございますが、本議案には賛成したいというふうに思っています。

今、給食センターの建設に使おうとしているのは、町長、あなたのお金ではなく町民のお金なんです。そのような意味でも、今回の予算が全く無駄ではないということを、町長、これから事あるごとに町民に丁寧に説明して御理解いただきたいというふうに思います。

以上、議案第33号令和元年度日出町一般会計補正予算（第3号）に対する賛成討論を述べさせていただきました。どうもありがとうございました。

○議長（森 昭人君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） なければ、これで討論を終わります。

---

### 採決

○議長（森 昭人君） これより採決を行います。

議案第33号令和元年度日出町一般会計補正予算（第3号）について採決します。

本案に対する委員長の報告は可決です。本案は委員長の報告のとおり、決定することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○議長（森 昭人君） 挙手全員です。したがって、議案第33号については委員長の報告のとおり可決されました。

---

### 閉会の宣告

○議長（森 昭人君） 以上で本臨時会に付議された議案の審議は全て終了しました。

これをもちまして、令和元年第1回日出町議会臨時会を閉会します。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、令和元年第1回日出町議会臨時会を閉会することに決定しました。

これで閉会します。御苦労さまでした。

午前10時46分閉会

---

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和元年 7月 9日

議 長 森 昭人

署名議員 上野 満

署名議員 川西 求一



会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

議 長

署名議員

署名議員